



ソニーのリビングオーディオなら ハイレゾも「簡単」「快適」

「ハイレゾ」の高音質を、もっと手軽に楽しみたい——

そんな願いを叶えるハイレゾ・オーディオ・プレーヤーが、ソニーから登場しました。HDDを内蔵し、PCに貯めた音楽データは自動で転送。PCの煩雑な操作は不要です。同時リリースのスピーカーにも、ハイレゾのために開発された独創的なアイデアが満載! ハイレゾをとことん楽しむためのプレミアムコンパクトオーディオです。

ディスクからデータに音楽再生の主役が交代し、圧縮音源の手軽さが支持を集めだが、ホームオーディオ最大のテーマが「高音質」であることはいまも変わらない。しかも、PCが音楽再生に重要な役割を演じるようになつたいま、高音質再生の価値が以前よりも注目されるようになったのだ。

CDを上回るマスター級の音源がダウンロードで買えるようになり、音にこだわる音楽ファンから熱い注目を集めている。名付けて「ハイレゾ」。高解像度を意味する「ハイレゾリューション」からこの呼び方が世界中に広まり、いま一番ホットな話題に成長、各社が競つて対応を進めている。

一方、ハイレゾの音のよさは誰もが認めるものの、PCの知識や操作などがつきまとひ、リビングで気軽に楽しむには少しハードルが高い。ソニーの「HAP-S1」は、その障壁を一気に取り払うこと狙った画期的な提案だ。

ハイレゾを含むデータ音源を使いこなすためには、データの購入移動、選曲などの操作環境を統一することが望ましい。そして、その作業を自動化することができれ

**ハイレゾを極限まで追求
ノイズ抑制の技術が満載!**



Sony HAP-S1

¥OPEN

投票No.140

DSD
Direct Stream Digital

SPEC ●主な搭載機能:内蔵HDD再生、Wi-Fi、デジタル入力(光1/同軸1)、アナログ入力(RCA)2系統、D/Aダイレクト出力ほか ●最大出力:40W+40W(4Ω) ●対応音声フォーマット:DSDIFF(DSD/2.8/5.6MHz)、DSF、FLAC、WAV(最大192kHz/24bit)、AIFF、AAC、WMA、MP3、ALAC、ATRAC ●外形寸法:265W×88H×304Dmm ●質量:5.8kg



Sony SS-HA1

¥OPEN

投票No.141

SPEC ●型式:3ウェイ・4スピーカー バスレフ型 ●ユニット:19mmWDソフトドーム・スーパートゥイーター×2、25mmソフトドーム・トゥイーター×1、130mmMRCコーン・ウーファー×1 ●最大入力:100W ●再生周波数域:48~50,000Hz ●出力音圧レベル:86dB(2.83V,1m) ●インピーダンス:4Ω ●最大外形寸法:185W×312H×312Dmm ●質量:4.8kg

ソニーだけの「簡単」「快適」3つのポイント

Point 1

サクサク動作する！

一般的なネットワークプレーヤーは、LAN経由で情報のやり取りをする。そのためネットワーク設定が煩雑だったり、楽曲の検索に時間がかかったりすることがある。しかし、HAP-S1はHDDを内蔵。転送アプリ「HAP Music Transfer」をPCにインストールして、簡単な初期設定さえすれば、あとはPCにある音楽データは本機に自動転送される。またHDD再生なので、楽曲検索、再生も非常にスムーズだ。

HDDへの自動転送のイメージ



Point 2

誰でも操れる！

選曲などの操作は、視認性の高い4.3インチのモニターを見ながらプッシュ式のロータリーエンコーダーを使うだけ。また、iOS、Android対応のモバイル操作アプリ「HDD Audio Remote」(無料)も用意。楽曲のメタ情報だけを読み込むことで、高速ブラウジングを実現している。また、ジャンルやアーティスト名など絞り込み検索もできるので、誰でも直感的な操作ができる。

「HDD Audio Remote」の画面



Point 3

管理も簡単

HAP-S1では、自動転送元のフォルダを自由に設定することができる。そのため、これまでダウンロードした音楽データもHDDに転送できる。また、ソニーが提供する無料の管理ソフト「Media Go」なら楽曲の購入、再生、管理までひとつのアプリケーションで行える。しかも、今秋からは「mora」を使ってMedia Goから直接ハイレゾデータの購入も可能になった。

「Media Go」の画面イメージ



INTERIOR LIST
●サイドT(M):K425SS ¥98,000 ●サイドT(H):K425SS ¥98,000 ●サイドボード:シフト ¥730,000 以上、すべてIDC大塚家具

ば、使い勝手は一気に向上する。
ソニーはそこに目を付けた。音
楽ソフトの「Media Go」でダ
ウンロード購入の環境を整え、内
蔵HDDにデータを移動する作業
を転送ソフトで自動化する。聴き
たい曲をネットで選べば、そのデ
ータがHAP-S1に自動転送され
る仕組みを作り上げたのである。
もちろんMedia Go以外で購
入した音源もHAP-S1に転送し
てくれる。パソコンと連携してネ
ットワークオーディオの使いやす
さを突き詰めて、ハイレゾ再生の
障壁を一気に取り払う。鮮やかな
手法で、しかも洗練されている。

HAP-S1が内蔵するHDDの容量は500GB、CDなら口
蓋式形式で1500枚ほど入る
が、それでも足りなければ外部H
DDも追加できる。本体前面にス
マホ並みの見やすいフルカラー液
晶を搭載し、選曲操作はもちろん、
再生中はジャケット画像を鮮明に
表示、背景色を自動的にアレンジ
するなど心憎い演出も盛り込ん
だ。スマホやタブレットからの操
作はレスポンスが抜群で、待たさ
れるストレスとは縁がない。

CDメカがないので、回路や筐
体を贅沢に作り込むことができる
点も見逃せない。別途紹介するよ
うにパーツの吟味、筐体設計どち



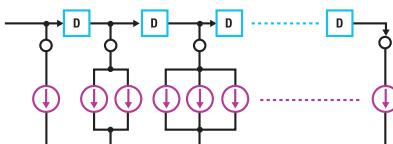
高精度DA変換

最大192kHz/24bitのPCM音源とDSD音源の再生に対応し、後者は5.6MHzのデータもサポートする。ハイレゾへの対応の広さ、柔軟性は最新USB DACに匹敵し、DSD音源についてはネットワークプレーヤーの専用機をも凌駕する充実した内容を誇る。SACD時代からDSDの録音と再生の両方を熟知するソニーならではのアプローチだ。圧縮音源の高域成分を補間するDSEEの搭載にも注目したい。(山之内)

Check

DSD

Direct Stream Digital



「Analog FIR FILTER」を使うことで、DSD信号の理想的なDA変換を実現した



広いスイートスポット

指向性の広い小口径トゥイーターを追加してスイートスポットを広げる手法は、ソニーの高級スピーカーから受け継いだ技術の一つだ。SS-HA1は天面にもWDスーパートゥイーターを追加し、リビング環境など広いエリアで実在感のある楽器のイメージを再現することを狙っている。複数のトゥイータユニットの取付位置や間隔はシミュレーションによって厳密に決められており、一体感のある空間再現を実現している。(山之内)



スーパートゥイーターを2つ搭載することで広い視聴エリアを確保した

ハイレゾを聴くためにこだわり抜いたSS-HA1

Check

HAP-S1に凝縮する高音質技術に迫る！

Check

ハイグレードパーツがズラリ！

HAP-S1の筐体の高さは、カスタム設計のコンデンサーを内蔵することを前提に決めたという。コンデンサーはそれほど重要なパートなのだ。特に電源回路のブロックコンデンサーは音楽のスケール感や質感を左右する重要な部品で、ピュアオーディオの製品では素材や構造にまでこだわることが求められる。本機のブロックコンデンサーもそれと同じ手法で作られており、ハイレゾ音源ならではの広大なスケール感の再現に一役買っている。(山之内)



ケース形状やスリーブの材質、長さまでこだわった特注のブロックコンデンサーを使用する

コンパクトでも広帯域

Check

フロントバッフル上部の傾斜とエッジ部の加工は有害な回折を抑えることが狙いで、独自設計のトゥイータユニット群の性能をフルに発揮する効果がある。バッフルを除く筐体の素材にアルミを採用したのは、木材のように肉厚に仕上げなくても十分な剛性を確保できることと、共振しにくい剛性の高さに理由がある。低音の共振を最小限に抑えることで、すっきりとした見通しのよい音場を再現することができるのだ。(山之内)



剛性の高いアルミキャビネットを採用し、プレース構造と吸音材で共振を排除した

らも妥協がなく、リビング向けのホームオーディオとしては別格といふべきこだわりが目を引く。

HAP-S1と同時発売する小型スピーカー「SS-HA1」は、最初からハイレゾに照準を合わせ、こちらもピュアオーディオ技術の粋を集めている。ハイレゾは周波数の再生範囲が広く、ステージの立体感などを間情報の再現力にかけた音源だ。そのメリットを存分に引き出すため、ユニットとキャビネットの両方に大胆な発想を注ぎ込んでいる点に注目しよう。

HAP-S1とSS-HA1を組み合わせ、ハイレゾ音源を聴く。ベースの輪郭が緩まず、余分な音を引きずらないので、ステージの見通しがとてもいい。ボーカルやピアノが過剰な低音に埋もれず、澄んだ音色で鮮明に浮かび上がるのだ。SS-HA1の良質な低音が、音源に含まれる微小情報や空間情報を引き立せ、高い質感を引き出していることがわかる。

オーディオストラは伸びやかな余韻の広がりと、低音から高音まで音の立ち上がりがきれいに揃つ心地よさに感心させられた。各楽器が前後左右に立体的に並び、壁を通り抜けるほど豊かな遠近感を体感することができる。(山之内正)

オーディオストラは伸びやかな余韻の広がりと、低音から高音まで音の立ち上がりがきれいに揃つ心地よさに感心させられた。各楽器が前後左右に立体的に並び、壁を通